

CASBEE[®]-不動産【集合住宅】評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-不動産【集合住宅】(2021年SDGs対応版) v1.2.2

建物概要					
建物名称	ブレジールミノ宮 II	敷地面積	1,000 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	兵庫県神戸市中央区	建築面積	761 m ²	評価の実施日	2024年11月15日
用途地域	商業地域、防火地域	延床面積	7,358 m ²	作成者	福士 明子
建物用途	共同住宅	地上13F 地下1F		不動産評価員番号	ふ-001189-27
竣工年月	2007年3月6日	構造	RC造 一部S造	確認日	2024年11月25日
直近の大規模改修実施年月	—	平均居住人員	198 人	確認者	福士 明子
		年間使用時間	8,760 時間/年	不動産評価員番号	ふ-001189-27

評価結果					
73.9 /100 (得点 / 満点)	合計	★★★★★	S ランク:★★★★★	≧	78
			A ランク:★★★★	≧	66
			B+ランク:★★★	≧	60
			B ランク:★★	≧	50
ポイントは小数点第1位までの表示とする					

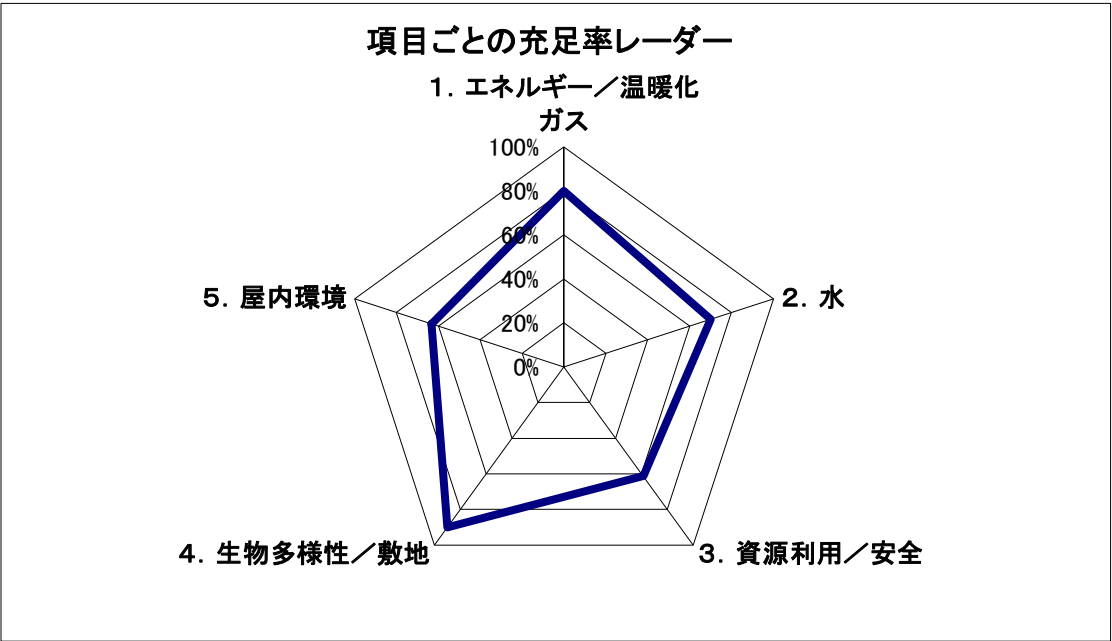
1. エネルギー／温暖化ガス					
評価	最大加点	必須項目	指標	(*)は参考値	評価値
適合		省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	一次エネルギー(目標値)		251 MJ/m ² ・年
		根拠等実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定			
15.0	20 / 15 / -	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(計画値)		253.6 MJ/m ² ・年
		根拠等実績値より	二次エネルギー(*)		26.0 kWh/m ² ・年
			CO ₂ 排出量(*)		12.4 kg-CO ₂ /m ² ・年
5.0	5 / 5 / 20	1.2 使用・排出原単位(実績値)	一次エネルギー(実績値)		253.6 MJ/m ² ・年
		共用部の評価	二次エネルギー(*)		26.0 kWh/m ² ・年
		エネルギー消費量実績値一覧参照	CO ₂ 排出量(*)		12.4 kg-CO ₂ /m ² ・年
		二次エネルギー＝一次エネルギー/9.76			
		CO2排出量を算出する係数は0.477kg-CO2/kWh(電気)			
1.0	- / 5 / 5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	導入された対策項目数		1.0 項目
		根拠等3)			
3.0	5	1.4 自然エネルギー	利用率		%
		根拠等導入していない			
24.0	30	合計			

2. 水					
評価	最大加点	必須項目	指標		評価値
適合		目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)		L/m ² ・年
		根拠等水消費実績を把握、次年度省エネ目標設定			
	0	2.1 水使用量(計算値)	水使用量(計画値)		L/m ² ・年
2.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)	水使用量(実績値)		8.6 L/m ² ・年
		根拠等1)			
5.0	5	2.3 水使用量(実績値)			
		根拠等水使用量実績値一覧参照			
7.0	10	合計			

3. 資源利用／安全					
評価	最大加点	必須項目	指標		評価値
適合		新耐震基準への適合またはIs値、If値	なし		
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価		
3.0		3.1.1 耐震性			
		根拠等建築基準法に定められた耐震性を有する			
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能			
		根拠等導入していない			
4.2	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制	3.2.1と3.2.2の平均で評価する		
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する		
		① 躯体材料	構造耐力上主要な部分にリサイクル資材を使用している		
5.0		② 非構造材料	リサイクル資材を使用している		
4.0		3.2.2 廃棄物処理負荷抑制	リサイクル材品目数(非構造材)		2 品目
		根拠等1)、3)、4)、6)	取組数		4 ポイント
3.0	加点 1	3.3 躯体材料の耐用年数	経過年数＋今後の想定耐用年数		年
		根拠等建築基準法に定める対策が講じられている	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均		
2.0	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー	更新年数の平均値		21 年
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔	自給率向上の取組数		項目
		根拠等計算式参照	維持管理に関する取組数		4 ポイント
1.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上			
		根拠等特になし			
2.0		3.4.3 維持管理			
		根拠等2)、6)			
1.0		3.4.4 バリアフリー対策			
		根拠等特になし			
12.2	20	合計			

4. 生物多様性／敷地					
評価	最大加点	必須項目	指標		評価値
適合		特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし		
		根拠等特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用していない			
8.0	10	4.1 生物多様性の向上	②取組表による場合のポイント数		2 ポイント
		根拠等1)、3)			
[4.2対象外の時は点数を倍]		4.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生			
0.0	0	根拠等土壌汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない			
[対策不要は対象外]		4.3 公共交通機関の接近性			
5.0	5	4.3.1 公共交通機関の接近性	鉄道駅またはバス停からの距離		8 分圏内
5.0		根拠等新神戸駅 徒歩5分			
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮			
5.0	5	4.4 自然災害リスク対策	リスクの合計数		1 種類
		根拠等リスクの合計数は1種のみで、有効な防災対策を実施している			
18.0	20	合計			

5. 屋内環境					
評価	最大加点	必須項目	指標		評価値
適合		建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合	なし		
		根拠等質問票への適合			
		5.1 自然利用			
1.6	3	5.1.1 星光利用	5.1.1.1の点数×2/3＋5.1.1.2の点数×1/3		
1.0		5.1.1.1 自然採光	開口率		%
		根拠等レベル2を満たさない			
3.0		5.1.1.2 星光利用設備	星光利用設備		1 種類
		根拠等星光利用設備がある			
1.0	3	5.1.2 通風・排熱			
		根拠等居室に自然換気開口がある			
2.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり	天井高		2.4 m以上
		根拠等天井高2.4m以上、かつ居住者が十分な屋外の情報を得られる窓の設置			
		5.2 健康・快適			
1.0	2	5.2.1 暑さ・寒さ			
		根拠等レベル2を満たさない			
2.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房			
		根拠等居室に冷暖房装置を実装している			
2.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気			
		根拠等化学汚染物質を抑える建材を用いている			
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音			
		根拠等レベル2を満たさない			
2.0	3	5.3 防犯対策			
		根拠等エントランスにセキュリティシステムの設置、かつITVカメラ監視			
12.6	20	合計			



環境性能の特徴

- ・エネルギーの計算値／実績値、水使用の実績値が高得点であり省エネルギー性能が高い。
- ・新耐震基準を満たしている。
- ・ゴミドラムを設置しゴミの減容化・減量化に取り組んでいる。
- ・徒歩5分圏内に交通公共機関(鉄道駅)があり利便性が高い。
- ・自然災害リスクへの対策が講じられている。

評価機関、評価員記名欄

認証機関記名欄